

幼稚園・保育園のわらい
安全に気をつけて活動する
カリキュラムNo.28・・・元気な子ども・・・
ルールのある集団ゲームを楽しむ
カリキュラムNo.39・・・元気な子ども・・・

小学校のわらい
ルールを守って元気いっぱい活動することができる
カリキュラムNo.63・・・元気な子ども・・・

もっと一緒に遊びたい！
～児童の自発性を促す～

7～1月
花巻幼稚園・花巻小学校

☆ 当日までの流れ ☆

年3回の交流会を計画し、第一回は6月に終了した。交流会後、一年生から「ペアの友達と、もっと仲良くなりたい。」「もっと一緒に遊びたい。」「校庭で一緒に遊ぶのはどう？」という声が上がった。このような子ども達の自発的な思いを大事にしたい、もっと気軽に交流してもいいのではないかと考えた小学校の担任は、園の年長組担任にそのことを伝えた。園では、年間計画以外の小学校からの誘いをたいへん嬉しく思い、早速、園長、副園長に伝え、全職員の理解を得ながら進めていった。
◎校庭で遊ぶ日を掲示し、ペアの子を思い出せるよう声をかけ、期待がもてるようにする。

☆ 交流の経過 ☆

活動の流れ	園児の姿 (○) 環境や援助 (◎)	児童の姿 (○) 指導者の支援 (◎)
7月4日 「 学校の校庭で遊ぼう！ 」 ・第一回交流会で出会ったペアの友達と一緒に遊ぶ。 (鉄棒、滑り台、サッカー、鬼ごっこ)	◎校庭でペアの子と出会う際、不安げな、緊張している子、ペアの子を見つけられない子へ声をかける。 ◎ペアの子とかかわるきっかけ作りをする。 ○小学校の校庭や遊具に興味をもち、教えてもらいながら遊びを楽しむ。 ○校庭で体を存分に動かして遊ぶ。 ○ペアの子へ安心感を抱き始め、一緒に遊ぶと楽しい、優しいと感じてきている。	◎グループ毎に園児を迎えられるよう声をかける。 ◎校庭での安全な遊び方、遊具の使い方(園児は初めてであること)、集合時間等を小学生に説明する。 ○ペアの子に声をかけ、遊びたい場所へ連れて行き、遊び方を教える。 ○自分の遊びよりもペアの子の様子に合わせて遊ぶ姿が多く見られる。
9月24日：第二回交流会 「 なかよしリレー 」		
10月中旬 「 鬼ごっこをしよう！ 」	(両施設の日程調整がつかず、計画案のみとなった。)	
1月下旬 「 児童公園でそり遊びをしよう！ 」 ・ペアの友達と一緒にそり滑りを楽しむ。 ◎ペアの友達と1台のソリを使って遊ぶ。	◎困った時、ペアの友達に自分から話せるよう見守り、支える。 <予想される姿> ○ペアの子と一緒に繰り返しそり遊びを楽しむ。 ○ペアの子に教えてもらったり、ペアの子の姿を真似たりしながら、安全に気をつけて遊ぼうとする。	◎事前に児童公園でそり滑りを体験し、ペアの子に、安全に気をつけながら、楽しく滑る方法を教えることができるよう声をかける。 ◎当日は細かい指示はあまり出さず、子どもたちが自ら気づいてペアの子とかかわる姿を見守り、支援する。 <予想される姿> ○ペアの子に遊び方を知らせ、ペアの子に寄り添いながら遊ぼうとする。
2月中旬：第三回交流会 「 一緒に作ろう！ 」		

☆ 考 察 ☆

- ・年間計画での年3回の交流会以外に、無理のない自然な形での交流を互いの教員が望んでいることが分かった。特にも今回、小学校側からのアプローチがあり、ペアがより親しくなるきっかけとなり、園の子どもたちが小学生の刺激を受けて体を動かす楽しさを味わっていることが分かった。
- ・回を重ねるごとに自然にペア同士積極的にかかわる姿が見られた。その日の交流を振り返り、楽しかったことを思い出しながら、次への期待がより大きくなっていることが分かった。